

平成30年度 情報理工学域  
学生募集要項

推薦入試  
「一般」  
「UECパスポートプログラム」

出願期間 平成29年11月1日(水)～11月6日(月)  
選抜期日 平成29年11月20日(月)・11月21日(火)  
合格発表 平成29年11月30日(木)



国立大学法人  
電気通信大学  
The University of Electro-Communications



電気通信大学は2018年に100周年を迎えます

## 目 次

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と 入学者選抜の基本方針	1
1. 推薦入試募集人員	4
2. 推薦入試の種類	4
3. 推薦入試「一般」	
3-1. 出願資格	4
3-2. 出願手続	5
3-3. 出願期間	6
3-4. 選抜方法等	6
4. 推薦入試「UECパスポートプログラム」	
4-1. 「UECパスポートプログラム」の概要	7
4-2. 出願資格	7
4-3. 出願要件	7
4-4. 出願手続	7
4-5. 出願期間	8
4-6. 選抜方法等	9
5. 合格者発表	9
6. 入学手続	9
7. 入学の辞退	10
8. 入学料・授業料等	10
9. 出願・受験に当たっての注意事項	10
10. 障害がある者等の出願について	10
11. 入学試験の個人成績の開示について	11
12. 平成29年度情報理工学域推薦入試実施結果	12

封入物 入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付票，推薦書，  
志望理由書，個人成績開示願，あて名票，出願書類送付用封筒，  
受験票等送付用封筒，検定料払込用紙（5連）

《個人情報の取り扱いについて》

出願に係る提出書類及び選抜に用いた試験成績等の個人情報  
については，入学者選抜，入試・学生支援関連業務のみに使用  
します。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と入学者選抜の基本方針

電気通信大学は、人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、社会とともに発展を続けてきました。科学・技術の発展を先導し、知識基盤社会を支える高度な人材を育成することは、大学の最も重要な使命です。

この使命のもと、社会的課題の解決に寄与し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会の実現に貢献するためには、もの、エネルギー、情報の交換による、「人」、「自然」、「社会」、「人工物」の間の相互作用を正しく理解し、それを通じた価値の創造が不可欠です。

本学は、そのような価値の創造をもたらす科学・技術体系を、広義のコミュニケーションの視点から「総合コミュニケーション科学」と捉え、これに関する教育研究の世界拠点となることを目指します。そして本学は、そのための取り組みを通じて、21世紀の世界に貢献したいと考えます。

### 1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### 【情報理工学域】

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる情報、通信、電子、機械、ロボティクス、光科学、量子物性、基礎科学等の情報領域、理工領域はもとより、両者の融合による革新的学際領域において、新しい価値の創造に貢献することがますます期待されています。

電気通信大学では、時代の要請を踏まえ、学生自らが、成長にあわせて段階的・探究的に専門分野を選択し、高度な専門性と総合力を身につける学修者主体の教育を実施します。

情報、融合、理工の各領域において、基礎学力と倫理観を備え、国際性、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を持ち、社会との関わりの中で大きく成長していくことのできる人材を育成します。その過程においては、科学的思考力、俯瞰力、倫理意識、論理的コミュニケーション能力等の涵養を大切にします。また、学士課程と修士課程（博士前期課程）の一貫性も教育課程の大きな特徴であり、学域における学びが、先端的な学問研究へと展開します。

このような教育方針に沿って、以下のような資質・能力・意欲を持った皆さんを、広く国内外から受入れます。

#### 【情報理工学域・求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる領域に不可欠な自然科学および数学に強い興味と探究心を持ち、その学修およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育の実現のために必要な基礎学力と論理的思考力・判断力・表現力を有し、多様な人々と協働しながら主体的に学ぼうとする意志の強い皆さんを求めます。

情報、融合、理工、それぞれの領域において、修得した知識と技術を活用して広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

#### 【I類（情報系）】

情報に関わる学問の基礎を広く学びます。情報を対象とする学問は多様であり、その領域は広範です。例えば情報それ自体を取り扱う学問には、情報の本質や実態を追究する分野、表現や加工、活用の技術や手法を開発する分野、また、情報の流通・収集・蓄積に関わる通信ネットワークの分野などがあり、それぞれが独立した学問として発展しています。

一方で情報に関わるすべての学問は相互に影響し合い、情報化社会を支えています。そのため次世代の情報化社会を先導する担い手には、一つの専門分野に軸足を置きつつハード・ソフトの両面を理解し、複数の専門分野にまたがる広い視野を持つことが求められます。I類では、情報に関わる分野全般に共通するコンピュータ、アルゴリズム、プログラムなどを学ぶとともに専門分野の基礎を身につけ、その後は「メディア情報学」、「経営・社会情報学」、「情報数理工学」、「コンピュータサイエンス」という教育プログラムのいずれかで、専門性を高めます。

#### 【I類（情報系）・求める学生像】

目まぐるしく変化する現代社会における情報形態の多様化、情報量の拡大といった環境の変遷に対応して、「人と人」、「人との」、「人と社会」のコミュニケーションの高度化が、これからの社会の発展に必要な不可欠となっています。情報の生成から、収集、流通、蓄積、加工および活用までを総合的に扱う学問である「情報学」を学び、身につけ、次世代の情報化社会を支える技術の創成を担う科学者・技術者を目指そうとしている人を歓迎します。

特に推薦入試では、数学や情報、そしてプログラミングが好きな人を求めます。数学あるいは情報分野における国際オリンピック等に参加や受賞した人を歓迎します。

## 【Ⅱ類（融合系）】

本類は数学と物理を科学的思考力の基礎として、情報学と理工学をともに系統的に深めることができる類です。情報学と理工学は、電子、情報、通信、セキュリティ、計測・制御、メカトロニクスなどの共通の基礎です。

Ⅱ類では、これらの領域を包含する5つの教育プログラム「セキュリティ情報学」、「情報通信工学」、「電子情報学」、「計測・制御システム」、「先端ロボティクス」を用意しています。それぞれにおいて、基礎性、専門性、俯瞰力、倫理観、社会性、国際性、論理的コミュニケーション能力を確立し、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を養う教育を実施します。

### 【Ⅱ類（融合系）・求める学生像】

情報学と理工学の基礎をなす数学、理科（特に物理）および英語に興味と学力を有し、それらの学修をさらに深めていく意志を持つ人を求めます。また、本類が目指す情報学と理工学の融合に関心を持ち、それを成し遂げるための論理的コミュニケーション能力、主体性、目的達成力を持つ人を求めます。とりわけ、独創性を持つ人を歓迎します。

特に推薦入試では、科学的思考力を支える好奇心、広い意味でのシステムづくりやものづくりへの関心、専門性を高める意志、将来の応用を支える倫理観、社会性を有する人を求めます。理学、工学や情報学の基礎となる分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

## 【Ⅲ類（理工系）】

理工学の基盤となる物理学、化学などの自然科学や数学を基礎から体系的に学び、その主要な構成分野である「機械システム」、「電子工学」、「光工学」、「物理工学」、「化学生命工学」の中から学生自ら探究的に選択し各分野に進みます。専門教育では、講義だけでなく、演習や実験を通して高度な専門性と実践力・総合力を養います。

また、広く理工学分野の教養を育みながら、科学技術の発展と自然環境や国際社会との調和を実践できる倫理観および社会性・国際性を養います。その過程で、自身の考えを他者と共有するための論理的コミュニケーション能力も養います。

### 【Ⅲ類（理工系）・求める学生像】

理工学の基盤となる自然科学や数学に強い興味と探究心を持ち、その学修のために必要な基礎学力と論理的思考力を有し、主体的に学ぼうとする意志の強い人を求めます。また、読解力や文章力、口頭表現力など基本的なコミュニケーション能力を有することを求めます。自然環境や国際社会に関心が高く、広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

特に推薦入試では、課題解決能力や実践力、プレゼンテーション能力を有する、問題意識の高い人を求めます。理数系分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

## 【先端工学基礎課程（夜間主）】

社会人および夜間の修学を必要とする人に対して「総合コミュニケーション科学」に関わる科学・技術に必要な専門教育の機会を提供するために、夜間主課程を設置しています。産業界における技術的課題を工学的に読み解き解決するために必要な基礎力および応用力を身につけた専門的職業人を育成します。

また、実務で必要となる技術者倫理や知財・特許管理を学ぶとともに、国際的に通用する論理的コミュニケーション能力の基礎を養います。

### 【先端工学基礎課程（夜間主）・求める学生像】

自然科学および数学に関する知識と技術の修得に努め、技術革新や産業構造の変化に対応しつつ広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めます。

## 《Ⅰ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）、先端工学基礎課程共通》

### 入学までの段階で修得が望ましい教科内容と水準

- 1) 数学は、基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること、特に、数学Ⅲまでの履修が望ましく、数学Ⅲまでの微積分の基礎知識を使って、様々な関数のグラフを描いたり、速度・加速度や簡単な図形の面積や体積を計算できること。さらに、複素数平面の基礎的事項を理解していること。
- 2) 理科は、出来るだけ多くの科目に興味を持ち、正しい自然観・宇宙観が育まれていること、特に、物理基礎、化学基礎に加えて物理、化学の履修が望ましく、物理の分野では、力学、電磁気学、熱、波動などに関連する現象を論理的かつ数理的に捉えてそれを説明でき、化学の分野では、化学結合の概念や物質の構造及び性質を理解し、化学の成果が日常生活の様々なところで役立っていることを認識し説明できること。
- 3) 英語は、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に活用したコミュニケーション能力を有し、さらに、基本的な読解力、平易な英文を辞書なしで読み進んでいくことのできる語彙力・文法力や、あるトピックを一つのパラグラフ程度にまとめることのできる英作文能力を有していること。
- 4) 国語は、言葉を通して的確に理解し、論理的に考え、効果的に表現し伝え合う能力を有すること、特に、他者の考え方についての理解力、自分の考え方を相手に伝えられる文章力と口頭表現力を有すること。
- 5) 他の教科・科目については基礎レベルの知識・理解を有すること。

注：水準はあくまでも高等学校における学習の目安であり、履修の有無でもって合否判定するものではありません。

## 2. 入学者選抜の基本方針

入学者の受入れに際しては、高等学校段階における学びの成果・実績の評価も含め、多様な選抜を実施します。一般入試、推薦入試、A0入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試及び特別編入学試験の入試方法に応じて、大学入試センター試験、個別学力検査、総合問題試験、面接試験、調査書及びその他の提出書類のいずれかを組み合わせて、本学域での学修において求められる資質、能力、学力等について総合的に判断し、選抜を行います。

推薦入試においては、以下のとおり選抜を行います。

### 1) 推薦入試（一般）

募集は、類の教育プログラム別に募集します。

選抜は、総合問題試験、面接試験及び提出書類を総合して行います。

総合問題試験は、理工学分野を学ぶために必要な理数的基礎知識や読解力、作文能力、論理的思考力等を問う問題を課し、面接試験では、志望動機や主体的な勉学意欲等に関する質問や、理工系への適性及び基礎的能力を問う質問を行い評価します。

また、各類で定める分野におけるコンテスト等での受賞歴などがある場合は、評価します。

### 2) 推薦入試（UEC パスポートプログラム）

募集は、Ⅲ類の電子工学、光工学、物理工学、化学生命工学の4つの教育プログラムを対象に募集します。

選抜は、面接試験及び提出書類を総合して行います。

このプログラムは、専門的な研究・開発能力や討論・発表能力を養うことを目的としていることから、志望動機や主体的な勉学意欲等に関する質問や理工系への適性及び基礎的能力を問う口頭試問に加え、理科に関する自由研究の発表用資料を準備し発表を行う面接試験を実施し、評価します。また、物理、化学、数学、情報分野等における国際オリンピックやコンクール等における実績を、総合判定において評価します。

## 1. 推薦入試募集人員

(単位：名)

学域	類 2年次後学期からの教育プログラム	募集人員 「一般」	募集人員 「UECパスポートプログラム」
情報 理工 学 域	I類(情報系)		
	メディア情報学プログラム	6	—
	経営・社会情報学プログラム	5	
	情報数理工学プログラム	5	
	コンピュータサイエンスプログラム	5	
	II類(融合系)		
	セキュリティ情報学プログラム	4	—
	情報通信工学プログラム	6	
	電子情報学プログラム	5	
	計測・制御システムプログラム	5	
先端ロボティクスプログラム	5		
III類(理工系)			
機械システムプログラム	5	—	
電子工学プログラム	4		
光工学プログラム	4	3名※	
物理工学プログラム	4		
化学生命工学プログラム	4		
	合計	70	

※ 「UECパスポートプログラム」は、III類(理工系)の電子工学、光工学、物理工学、化学生命工学の4つの教育プログラムを対象に募集し、募集人員は計3名となります。

## 2. 推薦入試の種類

本学域の推薦入試には、「一般」と「UECパスポートプログラム」の2種類があります。出願資格や選抜方法等に違いがありますので、よく確認して出願してください。

## 3. 推薦入試「一般」

### 3-1. 出願資格

高等学校等の大学入学資格を有する学校を平成30年3月卒業(修了)見込みの者(平成29年度において学年途中又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)で、次に該当し、学校長が責任をもって推薦する者。

調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者、又は数学及び理科の評定平均値の平均が4.5以上の者(小数点以下第2位を四捨五入)。(例：評定平均値が全体では3.9であるが、数学4.4及び理科4.5の場合、両教科の平均が4.45のため、出願資格があります。)

(注1) 各高等学校等からの各類への推薦人員については**2名以内**とします。

(注2) 別に募集する『推薦入試「UECパスポートプログラム」』及び「先端工学基礎課程AO入試」との併願はできません。

(注3) 入学後の学習には、次の科目の内容を理解していることが必要不可欠であるので、志願者は高校卒業までにこれらの科目を履修することが望ましい。

- ・「数学Ⅲ」, 「物理」, 「化学」

### 3-2. 出願手続

#### 1. 志望方法

志望する類を一つ及びその類の教育プログラムから一つのプログラムを選択し、出願してください。

#### 2. 出願の制限

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

本学の推薦入試へ出願する者は、他の国公立大学・学部の推薦入試に出願することはできません。

#### 3. 出願書類等

出願書類は、本募集要項添付の封筒に封入の上、高等学校等を経由して簡易書留郵便で郵送してください。

複数人の入学志願者がいる高等学校等では、出願書類を入学志願者ごとに本募集要項添付の封筒に封入の上、一括して別封筒に封入し、簡易書留郵便で郵送してください。別封筒の表には「推薦入試」と朱書してください。

#### 《出願書類の郵送先》

〒182-8585 電気通信大学入試課 （所在地の記入は不要）

出 願 書 類		注 意 事 項
1	※入学志願票	本募集要項添付の用紙に必要事項を記入してください。 上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, デジタルカメラ等で撮影した場合, 普通紙に印刷したものは不可)を写真票及び受験票の指定欄に貼ってください。
2	※写真票	
3	※受験票	
4	※振替払込受付証明書貼付票	金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を所定欄に貼ってください(5「入学検定料」を参照)。
5	入学検定料	① <b>17,000円</b> を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み「振替払込受付証明書」に日附印を受けてください。なお、ATM(現金自動預払機)ではなく、必ず金融機関窓口から払い込んでください。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を4の「検定料受付証明書貼付票」の所定欄に貼ってください。
6	調査書	文部科学省で定めた様式により、所属学校長が作成の上、厳封してください。
7	※推薦書	本募集要項添付の用紙を用いて所属学校長が作成し、厳封してください。
8	※志望理由書	本募集要項添付の用紙に、志願者本人が自筆で記入してください。
9	※受験票等送付用封筒	本募集要項添付の封筒(上部に「速達」の印刷がある)に、受験票の受取を希望する住所と志願者氏名を明記し、 <b>362円</b> 分の切手を貼ってください。
10	※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と志願者氏名を明記してください。
11	賞状等(任意提出)	志望する類が求める参考資料(賞状, 成績表, 資格証など)がある場合は、その写しを提出してください(3-4「選抜方法等」参照)。
12	その他	日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票(在留資格, 在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお、住民登録をしていない者はパスポートの写し(氏名, 生年月日, 性別が記載されている箇所)を提出してください。

(注) ※印の付されたものは、本募集要項に添付しています。

出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。

### 3-3. 出願期間

平成29年11月1日(水)から11月6日(月)まで(11月6日(月)必着)

(注) 郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

### 3-4. 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、総合問題試験、面接試験及び提出書類を総合して行います。なお、各類で定める分野におけるコンテスト等での受賞歴などがある場合は、評価に反映しますので、その賞状、成績表、資格証等の写しを出願時に提出してください。

I類(情報系) 数学あるいは情報分野における国際オリンピック等

II類(融合系) 理学、工学や情報学の基礎となる分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等

III類(理工系) 理数系分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等

#### 選抜期日及び試験内容

選 抜 期 日	時 間	区 分	内 容	場 所
11月20日(月)	10時～12時 (120分)	総合問題 試 験	理数的基礎知識、読解力、作文能力、論理的思考力等を問います。 課題は英文で与えることがあります。	電気通信大学
11月21日(火)	10時～	面接試験	個人面接とし、志望する類(教育プログラム)ごとに複数の面接委員で行います。 志望動機、勉学意欲等に関する質問に加え、数学・理科・英語の基礎知識について口頭試問等を行う場合があります。	



## 4. 推薦入試「UECパスポートプログラム」

### 4-1. 「UECパスポートプログラム」の概要

Ⅲ類（理工系）の電子工学，光工学，物理工学，化学生命工学の4つの教育プログラムでは，自ら学ぶ高い意欲を持つ学生を支援する特別プログラム「UECパスポートプログラム」を実施しています。科学技術の進歩と発展には，科学者，技術者としての専門的な研究・開発能力と同時に，分野を異にする人々との意見交換と自らの目指すものを説明できる討論・発表能力も重要となります。UECパスポートプログラムではこれらの能力を重点的に養成します。このプログラムの参加学生は上記4つのプログラムの学生のおよそ10%です。推薦入試「UECパスポートプログラム」による入学者は，本プログラムへの参加が前提となります。それ以外の入試による入学者については，希望者を対象に1年次後学期に選抜を実施し，参加者を決定します。

本プログラム参加学生は，通常の授業カリキュラムと合わせて学域1年次から3年次にわたり系統的に用意されたカリキュラムを受講します。1年次の「UECパスポートセミナー」では学内外における最先端の研究について学びます。2年次，3年次の「UECパスポートA・B」では学内の先端的な実験設備を使って自らが考えたテーマについて自主研究を行い，他大学と連携発表会でその成果発表を行います。また全学年で先端的な実験設備を備えた学生オープンラボを利用して自由な研究活動ができます。

これらのカリキュラムの多くは卒業単位に組み入れられます。

### 4-2. 出願資格

高等学校等の大学入学資格を有する学校を平成30年3月卒業(修了)見込みの者（平成29年度において学年途中又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で，学習成績が上位の者で，本学においても優秀な成績を修め得ると学校長が責任をもって推薦する者。

(注1) 各高等学校等からの推薦人数は，**2名以内**とします。

(注2) 別に募集する『推薦入試「一般」』及び「先端工学基礎課程 AO入試」との**併願はできません**。

(注3) 入学後の学習には，次の科目の内容を理解していることが必要不可欠であるので，志願者は高校卒業までにこれらの科目を履修することが望ましい。

- ・「**数学Ⅲ**」，「**物理**」，「**化学**」

### 4-3. 出願要件

「UECパスポートプログラム」へ出願を希望する者は，入学後に「UECパスポートプログラム」へ参加の意思があること。

### 4-4. 出願手続

#### 1. 志望方法

Ⅲ類（理工系）の電子工学，光工学，物理工学，化学生命工学の4つの教育プログラムから一つのプログラムを選択し，出願してください。

#### 2. 出願の制限

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することができるのは，1つの大学・学部のみです。

本学の推薦入試へ出願する者は，他の国公立大学・学部の推薦入試に出願することはできません。

### 3. 出願書類等

出願書類は、本募集要項添付の封筒に封入の上、高等学校等を経由して簡易書留郵便で郵送してください。

複数人の入学志願者がいる高等学校等では、出願書類を入学志願者ごとに本募集要項添付の封筒に封入の上、一括して別封筒に封入し、簡易書留郵便で郵送してください。別封筒の表には「推薦入試」と朱書してください。

#### 《出願書類の郵送先》

〒182-8585 電気通信大学入試課 (所在地の記入は不要)

出 願 書 類	注 意 事 項
1 ※入学志願票 2 ※写真票 3 ※受験票	本募集要項添付の用紙に必要事項を記入してください。 上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, デジタルカメラ等で撮影した場合, 普通紙に印刷したものは不可)を写真票及び受験票の指定欄に貼ってください。
4 ※振替払込受付 証明書貼付票	金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を所定欄に貼ってください(5「入学検定料」を参照)。
5 入学検定料	① <b>17,000円</b> を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み「振替払込受付証明書」に日附印を受けてください。なお, ATM(現金自動預払機)ではなく, 必ず金融機関窓口から払い込んでください。 ② 払込手数料は, 志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後, 「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を4の「検定料受付証明書貼付票」の所定欄に貼ってください。
6 調査書	文部科学省で定めた様式により, 所属学校長が作成の上, 厳封してください。
7 ※推薦書	本募集要項添付の用紙を用いて所属学校長が作成し, 厳封してください。
8 ※志望理由書	本募集要項添付の用紙に志願者本人が自筆で記入してください。
9 ※受験票等 送付用封筒	本募集要項添付の封筒(上部に「速達」の印刷がある)に, 受験票の受取を希望する住所と志願者氏名を明記し, <b>362円分</b> の切手を貼ってください。
10 ※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と志願者氏名を明記してください。
11 賞状等 (任意提出)	物理, 化学, 数学, 情報分野等における国際オリンピックなどの課題解答方式国際コンクールの選考会, ならびに, 全国規模の自由研究方式コンクールにおける賞状, 成績表, 資格証などがある場合は, その写しを提出してください(4-6「選抜方法等」参照)。
12 その他	日本国籍を有しない者は, 市区町村の発行する住民票(在留資格, 在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお, 住民登録をしていない者はパスポートの写し(氏名, 生年月日, 性別が記載されている箇所)を提出してください。

(注) ※印の付されたものは, 本募集要項に添付しています。

出願書類の記入には, 黒又は青のペンかボールペンを使用してください。

### 4-5. 出願期間

平成29年11月1日(水)から11月6日(月)まで(11月6日(月)必着)

(注) 郵便事情を考慮し, 十分余裕をもって発送してください。

#### 4-6. 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、面接試験及び提出書類を総合して行います。

なお、物理、化学、数学、情報分野等における国際オリンピックなどの課題解答方式国際コンクールの選考会、ならびに、全国規模の自由研究方式コンクールにおける実績を総合判定において評価しますので、その賞状、成績表、資格証等の写しを出願時に提出してください。

#### 選抜期日及び試験内容

選抜期日	時 間	区 分	内 容	場 所
11月20日(月) 21日(火) のいずれか1日	10時～	面接試験	個人面接とし、複数の面接委員で行います。 志望動機、勉学意欲等に関する質問に加え、「高等学校等での理科に関する研究活動等」について、自ら作成したポスターによる発表を行っていただき、その内容について質問を行います*。  なお、数学・理科・英語の基礎知識について口頭試問を行う場合があります。	電気通信大学

※ 面接試験時には理科に関する自由研究の発表用資料として、横 90cm、縦 120cm 程度のポスター1 枚を準備し、持参してください。その他の発表用資料や、ノートパソコンを使用することはできません。

#### 5. 合格者発表

- 平成 29 年 11 月 30 日(木)午前 10 時に本学構内の入試用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を発送し、併せて高等学校長等あてに合否を文書で通知します。
- 合格者の受験番号は、本学のウェブサイト(<http://www.uec.ac.jp/>)においても「11 月 30 日(木)10 時 30 分頃」から発表日も含めて 7 日間掲載する予定です。  
(注) 電話、メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

#### 6. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を送付します。

なお、入学手続の際に受験票が必要となりますので、紛失等しないよう保管してください。

合格者は、次の期間に持参又は郵送により入学手続を行ってください。

- 入学手続期間  
持参の場合：平成 29 年 12 月 7 日(木)・12 月 8 日(金)の 10 時から 16 時まで  
郵送の場合：平成 29 年 12 月 8 日(金)までに必着
- 入学手続場所  
電気通信大学入試課
- 本学への入学手続を完了した者は、他の国公立大学を受験しても合格者となることはできません。(入学辞退を許可された者を除く。「7. 入学の辞退」参照。)

## 7. 入学の辞退

合格者は、入学手続きを行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、平成 30 年 2 月 13 日(火)(必着)までに「入学辞退願(任意の様式)」が、学校長から電気通信大学長に提出された場合に限り、入学の辞退を許可することがあります。

なお、「入学の辞退を許可された者」でなければ、出願済みの他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の個別学力検査を受験しても、合格者とはなり得ないので注意してください。

※公立大学協会ウェブサイト(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照

## 8. 入学金・授業料等

### 1. 納入金

入学金	282,000 円
授業料(前期分)	267,900 円(年額 535,800 円)
計	549,900 円

- (注)
- ・上記の金額は、改定されることがあります。
  - ・入学金・授業料の納入方法及びその他の提出書類等については別途通知します。
  - ・授業料については前期分の納入の際に、申し出により後期分も合わせて納入することができます。
  - ・在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2. 上記納入金の他に、諸会費として学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料等があり、入会等のご案内は別途通知する予定です。

## 9. 出願・受験に当たっての注意事項

1. 選考の結果、不合格となった者で、本学が実施する一般入試の受験を希望する者は、次のことに留意してください。
- (1) あらかじめ大学入試センター試験に出願し、本学が指定する「受験を要する教科・科目」を受験しなければなりません。(平成 30 年度大学入試センター試験の出願期間は、平成 29 年 9 月 26 日(火)から 10 月 6 日(金)まで)
- (2) 学生募集要項を参照のうえ、所定の出願手続きを行ってください。
2. 納入済みの検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (注 1) 返還の手続等については、志願者本人に連絡します。
- (注 2) 返還に伴う払込手数料は志願者本人の負担となります。
3. 出願書類の受理後は、記載事項等の変更及び出願書類の返還は認めません。
4. 出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
5. 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試の可否及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されますのでご了承願います。

## 10. 障害がある者等の出願について

障害がある者等で、受験上特別な措置及び入学後修学上特別な配慮を必要とする者は、平成 29 年 9 月 15 日(金)までに入試課に相談してください。

## 11. 入学試験の個人成績の開示について

推薦入試の個人成績を受験者本人に限って開示します。

平成 30 年度入学試験の個人成績の開示は、次のとおり行いますので、**受験者本人が期間内に申請**してください。

### 1. 申請期間

**平成 30 年 5 月 7 日(月)～平成 30 年 5 月 31 日(木)**

持参の場合は、9 時 00 分から 12 時 00 分及び 13 時 00 分から 17 時 00 分までとします。

(土日曜及び祝日を除く。)

### 2. 申請方法

以下の書類を取り揃え、持参又は郵送により申請してください。

なお、電話、FAX 等での申し込みは受け付けません。

#### (1) 個人成績開示願

本募集要項に添付されている「個人成績開示願」を使用してください。

申請は受験者本人のみができます。(代理人不可)

#### (2) 受験票

本人確認のため、受験票を提出又は同封してください。(コピー不可)

受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書(学生証等)を持参又はコピーを送付してください。

(3) 受験者本人の住所・名前を明記した、392 円分の切手を貼った返信用封筒(規格：長 3 ※本募集要項には添付していません。)

### 3. 開示する個人成績

総合評価

### 4. 開示の方法

申請を受理した日から 30 日以内に、簡易書留郵便により受験者本人宛に郵送します。

### 5. 持参、送付先

電気通信大学入試課入学試験係

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL 042-443-5103

## 12. 平成 29 年度情報理工学域推薦入試実施結果

類・教育プログラム・試験区分	推薦入試		
	募集人員	志願者数	合格者数
<b>I 類(情報系)：「一般」</b>			
メディア情報学プログラム	6	29	9
経営・社会情報学プログラム	5	8	4
情報数理工学プログラム	5	13	4
コンピュータサイエンスプログラム	5	15	7
<b>II 類(融合系)：「一般」</b>			
セキュリティ情報学プログラム	4	17	4
情報通信工学プログラム	6	6	5
電子情報学プログラム	5	12	6
計測・制御システムプログラム	5	7	5
先端ロボティクスプログラム	5	13	5
<b>III 類(理工系)：「一般」</b>			
機械システムプログラム	5	13	4
電子工学プログラム	4	12	4
光工学プログラム	4	3	1
物理工学プログラム	4	2	2
化学生命工学プログラム	4	0	0
<b>III 類(理工系)：「UEC パスポートプログラム」</b>			
電子工学プログラム	} 3	1	1
光工学プログラム		0	0
物理工学プログラム		0	0
化学生命工学プログラム		0	0
計	70	151	61

# 個人成績開示願

電気通信大学長 殿

私は、下記のとおり平成 30 年度情報理工学域推薦入試における個人成績について開示を希望します。

開示請求年月日 平成 年 月 日

氏 名	印
生 年 月 日	平成 年 月 日
住 所	〒 - 電話 - -
出 身 学 校	
開示を希望する試験の受験番号	推薦入試( ) ( ) 内に受験番号を記入
開 示 方 法	本開示願を受理した日から30日以内に簡易書留により郵送

- 注 1. 本学の受験票を提出又は同封してください。(コピー不可)  
2. 受験者本人の住所・名前を明記した、392 円分の切手を貼った返信用封筒(規格:長 3)を提出又は同封してください。  
3. 申請期間内(平成 30 年 5 月 7 日~31 日)に提出してください。

以下は記入しないでください。

No.	処理日	受理日

【問い合わせ先一覧】

問い合わせ内容	担当（連絡先）
入学試験に関する質問	入試課入学試験係 (042-443-5103)
入学料・授業料に関する質問	財務課出納係 (042-443-5040)
入学式に関する質問	教務課教務係 (042-443-5075)
奨学金制度に関する質問	学生支援センター〔経済支援担当〕 (042-443-5090)
入学料・授業料免除に関する質問	学生支援センター〔経済支援担当〕 (042-443-5089)
学生寮に関する質問	学生支援センター〔学生宿舎担当〕 (042-443-5083)
サークル活動に関する質問	学生支援センター〔課外・厚生担当〕 (042-443-5085)
学生生活全般に関する質問	学生支援センター〔学生担当〕 (042-443-5087)
就職・進路に関する質問	学生支援センター〔就職支援担当〕 (042-443-5110)

〔電気通信大学ウェブサイト〕

<http://www.uec.ac.jp/>

推薦入試に関して変更等や不測の事態が生じた場合は、本学ウェブサイトでお知らせします。



